

Dear キクチさん、

ブルーテント村とチョコレート

文・絵
いちむらみさこ

アーティスト・いちむらみさこ、

公園のブルーテント村に住んだ！

大都会のブルーテント村、それは暗くイメージされるけれど、人々の織りなす暮らしには美しさ、豊かさがあった

隣の隣の女性、キクチさんはpopでpunk、こんなに自由に遊べる人がいるんだと嬉しくなる！

2年がすぎ、いちむらみさこは、旅立っていったキクチさんへ公園からを思いを綴る。スキップするような公園の日常、女性達のこと、...

生活と可能性

女性とホームレス

いちむらさんには、夢や思いを形にする力がある。そして彼女の描く絵は、さまざまな種子が芽吹くやわらかい腐葉土のように栄養たっぷりにしっとりしている。

小川てつオ(ホームレス)

現実を生き抜くためのメルヘンが満載！

かっこいい女のひとの近所で暮らしたい！

ブブ・ド・ラ・マドレーヌ(美術作家)

いちむらみさこ

「女性のためのティーパーティー」

1971年尼崎生まれ、現在東京の公園在住。京都精華大学卒業。東京芸術大学大学院修了。テントを張り、そこから作品を作るシリーズ「たびたび生活」などで注目される。2003年10月から公園に住みはじめ、そこで、「絵を描く会」「女性のためのティーパーティー」を開いている。

いちむらみさこは公園の暮らしの中で、いろいろ「ややこしいこと」に遭遇する。それで、女性たちに出会いたい、公園をまわり、ポツポツと暮らしていた女性たちに声をかけ、目立つ丘の上で、月一回のティーパーティーを始めた。それは、コミュニティづくりにもなったし、女性の存在をテント村の社会に示すことになった。女性たちの笑い声がよく聞かれるようになり、暴力などに対しても協力しあえるようになった。それは、いちむらみさこが公園で生きていくために必要なことでもあった。

レンズがイギリスの国旗のサングラスなどを楽しく使って、セクシーもフェミニンもマニッシュもコギャルファッションも何でも、斬新に着こなしていってました。髪はキャラメル色で、猫が頭に乘ったみたいでした。

2006/9/25 発行
1200円+税 144 p A5版 二色刷

キョートット出版
<http://kyototto.com>
tel&fax075-702-9598



注文カード 流通センター 取扱品 取扱品	書店名(帳合)	〒 600-0273 京橋区長町三丁目1番6号 tel&fax 075-702-9598 e-mail info@kyototto.com		
		Dear キクチさん ブルーテント村とチョコレート いちむらみさこ	定価1260円 本体1200円+税5%	冊
ISBN4-9902637-1-5 C0095 ¥1200E				

日
月